

# 平成16年度学校経営計画表

## 1 学校の現況

学校番号	15	学校名	茨城県立里美高等学校				課程	全日制		学校長名	川崎 忠雄					
教頭名	澤島 英治								事務(室)長名	山崎 初雄						
教職員数	教諭	13	養護教諭	1	常勤講師	7	非常勤講師	1	実習教諭, 実習助手	1	事務職員	2	技術職員等	2	計	27
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数				
127	普通科	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	8				
	科	19	8	39	17	32	12			90	37	8				

## 2 目指す学校像

生徒一人一人の創造性と自ら学ぶ意欲や考える力を育成し、社会の変化に対応できる能力と主体的な進路選択のための基礎的・基本的な知識を身に付ける。  
人間としての在り方生き方について考え、豊かな心をはぐくみ、たくましく生きる力を身に付け、積極的に社会に貢献できる人間を育成する。

## 3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	学習意欲に乏しく、基礎学力が十分でない生徒が多い。	どのようにして学習意欲を高め、分かる授業を実現するか。
進路指導	進路目標の設定や自己の進路に対する取り組み意識が甘い。	個々の生徒の進路目標を早期に設定し、取り組み意識をどのように高めるか。
生徒指導	自己理解と各種の資格取得が不十分である。	規範意識を高め、規律の遵守及び集団行動の在り方をどのように推進するか。
特別活動	課題を抱えたまま入学する為、規律を守れない生徒が多い。同じ生徒が問題を繰り返す傾向にある。ホームルームや学校行事への生徒の主体的参加が不十分である。	生徒自身の計画・実践・反省の能力をどのように身に付けさせるか。

## 4 中期的目標

- 1 生徒の基礎学力の向上を推進するため、指導内容の工夫と改善を図り、授業時間の確保と分かる授業を展開する。
- 2 生徒一人一人の主体的な進路選択能力の育成を図るため、進路ガイダンスや個別面談での指導を充実させる。外部講師による講演会や進路情報の提供等を積極的に行い、指導内容をさらに充実させる。
- 3 基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上を図るため、全体指導の充実と個々の生徒とのコミュニケー

ション機会の確保に努める。家庭訪問を実施し保護者と連携の強化を図る。

4 帰属意識や協調性・連帯感・責任感を養うため、文化祭やクラスマッチ・マラソン大会等の学校行事の改善および充実を図る。

## 5 年次ごとの重点目標

年次	重点目標	具体的目標	達成状況
1年次	教職員の研修に対する意識の高揚と授業研修を充実させる。	各教科が生徒の実態に即した年間指導計画を作成し指導方法及び評価方法の工夫改善を図る。	
	進路目標を設定し、目標到達への努力を継続させ、進路の実現を図る。 生徒の基本的な生活習慣の確立を図り、時間を厳守して行動する習慣を身につける。 学校行事を通して、団体行動の重要性を理解させ、責任ある態度・行動を身に付けさせる。	将来の社会人・職業人として必要な勤労観・職業観の育成を図り個々の生徒の進路希望を実現させる。 あいさつの励行や言葉使い、身だしなみの指導を徹底し、携帯電話の使用マナーを指導する。また授業開始のチャイムによる着席を習慣づける。 学校行事等への積極的な参加をとおり、共同社会の一員であることを自覚し、集団行動の在り方や協力する態度を養う。	
2年次	わかる授業のもと、生徒が主体的に学習に取り組む態度を養う。	生徒が授業に興味・関心を持ち主体的に参加できるような授業を展開するため、全教科の公開授業を実施する。	
	自己と社会との関わりについて考察する機会を増やし、自己の立場を認識させる。 家庭や地域社会・関係機関との連携を深め、安全な学校生活の実現に努める。 様々な体験活動を通じ、地域との交流を図ることにより社会性や人間性を深める。	進路ガイダンスやインターンシップ等の内容を見直し、さらに充実させて社会参加への意識を高める。 校外における毎月1回の立哨指導、5月・10月の交通安全講話や年6回のバイク・自転車の安全点検を実施して、交通事故の防止に努める。 里美牧場百年の杜づくり・かかし祭り・ボランディア活動等の行事を通して、保護者や地域社会との連帯感・成就感を体験させ地域社会の一員であることを自覚させる。	
3年次	自ら学ぶ学習意欲の向上に努め、基礎学力の確立を図る。 進路選択・進路実現のための進路情報を充実させる。	英検・漢検・ワープロ検定・硬筆検定等各種の資格取得を奨励し、社会のニーズに応えられる実力を身に付けさせる。 進路模試・進学課外の充実と各種検定試験の合格率を高める。また保護者対象の進路講演会をとおり保護者の意識の啓発と連携・協力を得て生徒全員の進路実現を目指す。	
	危機管理と安全教育の推進に努め、問題行動の未然防止を図る。 平成18年度からの県立太田第二高等学校の分校化にともない学校行事等の連携を図る。	教職員が危機意識を持ち、事故や不審者に対して適切な行動が取れるよう危機管理体制の再検討を図る。職員による学校内外の巡回指導を充実させる。 本校と分校との学校行事の共催や部活動等での合同練習や交流を積極的に進める。	